

平成28年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	富沢・牧・中山
		全体計画						経費区分		-		内線	3531
事務事業名	4207 道路橋梁管理事業												
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課												
施 策	06033300 橋や道路整備の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	080201 土木費・道路橋梁費・道路橋梁総務費											
	事業	020000 道路橋梁管理事業											
事業目的							事業概要・効果						
都市の基本的施設である道路、橋梁を的確に管理することは、安全で快適な市民生活を提供するうえで必須の条件である。							<ul style="list-style-type: none"> ・市民との協働によるまちづくりを誘導するためにも不可欠なソフト事業である。 ・道路、橋梁の維持管理及び保全によって道路環境の整備を図る。 ・市民要望に基づき生活道路である狭あい道路の整備を図る。 ・未登記処理は予算の範囲内で鋭意努力する。 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
測量登記委託料 4,000,000円 道路台帳補正委託料 5,000,000円 法定外公共物管理システム補正業務委託1,200,000円 用地購入費 500,000円	測量登記委託料 4,000,000円 道路台帳補正委託料 5,000,000円 法定外公共物管理システム補正業務委託1,200,000円 用地購入費 500,000円
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		17,719	18,041
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	9	8
一般財源		17,710	18,033
人員数(人)	正規職員	4.9	2.7
	嘱託職員	0.1	0.5
	臨時職員	0.0	0.1
人員コスト	正規職員	35,319.2	19,461.6
	嘱託職員	270.5	1,352.5
	臨時職員	0.0	103.0
	計	35,589.7	20,917.1
市民一人当たりの経費		1.0	0.7
総額		53,308.7	38,958.1

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	4,826	消耗品費等
13節 委託費	11,301	測量図作成委託料 道路台帳補正委託料等、法定外公共物システム補正業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,592	保険料・手数料・通信費

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	5,077	消耗品等
13節 委託費	10,700	測量図作成委託料 道路台帳補正委託料等、法定外公共物システム補正業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,264	保険料・手数料・通信費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	都市と市の基本的施設である道路、橋梁の台帳や登記を的確に管理、処理することは、法を遵守し、また、安全で快適な市民生活を提供するうえで必須の条件である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	道路、橋梁の台帳整備、登記は維持管理の保全を図るうえで必要な整備である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	市道の認定、道路敷の払下げ、譲渡、未登記解消の解消は年々増え続け、対策経費が増加していく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市道の認定、道路敷の払下げ、未登記解消は今後も増加し、道路台帳整備、登記の整備の経費や計画を検討していく必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

道路環境の整備を図るためにも、道路・橋梁等を的確に管理し、適切な維持管理を進める。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

道路橋梁等の保全を図るためにも、日頃の維持管理は重要である。道路環境の整備を継続して進める

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--